

エゾシカカフェ店主敬白

VOL.28 2011/1/7

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、「エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる」ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

子丑寅**鹿**辰巳午未申酉戌亥

今年は、2011年。とうとう来ました、鹿年です。(卯年の方ごめんなさい。)ということで、エゾシカカフェは今年もがんばって行きたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。今年の目標は、昨年末に考えた3つ。

1. エゾシカカフェファンクラブ創設
2. 日高グルメツアー催行
3. エゾシカ加工食品の販売

です。よーし、がんばるぞ! ということで、今年もエゾシカカフェとクイーズをよろしくお祈りします。

シカ駄洒落 → 寓話

鹿と兎は、どちらも同じ環境で住んでいます。ということで、鹿と兎を使った寓話がたくさんあります。駄洒落を紹介しようと思ったのですが、年始早々シカ駄洒落もお客様に失礼ですので、寓話を紹介します。少しは役立つし、かっこいいでしょ。

1. 鹿を逐う者は兎を顧みず(日本のことわざ)
大物を狙いすぎると、小さなことに気がつかないってこと
2. 兎はシカみたいな肢をしていた(アイヌの言い伝え)
昔シカのような肢をしていた兎は、雪の上で歩きにくいので、シカをだまして、肢を交換したそうです。で、今みたいな良く飛べる肢をゲットできました。(兎は悪者、シカはアホってことみたいです。)
3. 自分の能力以上の肩書きは必要ない(イソップ)
シカの立派な角にあこがれた兎は、神様に頼んで立派な角を生やしてもらいましたが、あんまりにも重くて動けなくなって死んでしまったそうです。



ん～調べてみたけど・・・駄洒落のほうがよかった。しっかりだ。

昔のユキウサギはこんなんだったらしい。